

# スタッフの素顔



## 和泉達也

IZUMI, Tatsuya

ワシントン国際問題研究所研究員



## 佐藤宏紀

SATO, Hiroki

調査事業部研究員



## 菅生康史

SUGO, Yasushi

調査事業部研究員

### ◆和泉達也氏

和泉さんは、オープンスカイをテーマとした2015年10月のセミナーの直前に、成田国際空港株式会社（NAA）からワシントン国際問題研究所に着任されました。当時、赴任早々の生活のセットアップ等でお忙しい中、セミナーの準備に奔走されていたのが印象的でした。あまりにも違和感のない御様子から、NAAで関連の業務に携わってこられたのかと思いきや、和泉さんは、技術者として、LCCターミナルや、2015年4月にオープンした体感型トレギャラリー「GALLERY TOTO」等の利用者が楽しくなる成田国際空港を実現するプロジェクトにおいて、中心となってこられたそうです。ワシントンにおいても、各種のセミナー等で様々な情報を収集して来られたり、Webチャトルの投稿数が最多であったり、プライベートでも御家族と一緒にいろいろなイベントや旅行を楽しまれる等、生来の守備範囲の広さを存分に発揮されています。和泉さんがワシントンで手にされた経験、知識、人脈等によって、成田国際空港の利用がさらに楽しくなることを、空港利用者の一人として楽しみにしています。

(ワシントン国際問題研究所 清水 哲)

### ◆佐藤宏紀氏

佐藤さんは西武鉄道からの6代目の出向者である。西武鉄道ではハード系の業務が中心で都市鉄道や幹線鉄道の計画に携わるのは初めてとのことである。しかし、大学は交通計画系の研究室の出身である。しかも私の8期下の後輩であり、忘年会などでは定期的に顔を合わせていた間柄である。現在担当している業務では、需要予測や費用便益分析など、大学時に一度は聞いたことがある内容なので頭のリハビリをしながら、先輩と一緒にというあたたくも?厳しい環境の中で、日々がんばっている。私個人としては、研究室の後輩ということ差し置いても頼りになる存在となっている。休みの日は独身であることを良いことに、旅行や神宮球場で野球をしたりとかなりアクティブに活動している。さらに勤務地もこれまでの現場と異なり23区内ということもあり、現在の生活を満喫して、オンとオフを上手に使い分けているようである。一点だけ気になることが、西武鉄道の社員なのに、好きな野球チームはライバル球団なのは良いのだろうか……。

(調査事業部 新倉淳史)

### ◆菅生康史氏

菅生さんは、調査事業部のベテランで、鉄道の新線整備や施設改良計画などの整備効果の検討を中心とする受託業務の多くを担当し、常に同時並行で幾つもの調査を動かしています。さらに最近は鉄道事業者の海外展開の事例の取りまとめもされており、菅生さんといえば「多忙」というイメージが強いです。そんな多忙な菅生さんですが、部に赴任する多くの研究員に、調査を実践しながらその基本も教えています。調査業務のいろはからはじまり、委員会の進め方、クライアントや協力会社との調整の仕方と非常に広いもので、たくさんの研究員を一人前に育てています。時にはデスクで、また時には居酒屋で愛する日本酒を傾けながら、調査業務はもちろんのこと、3人のお子様の子育ての苦労話まで話はどんどん広がっていき、気が付いたら終電だったことも……。どんなに忙しいときに声をかけても、笑顔で疑問点を一緒に考えてくれ、調査結果をより良い方向に向けてアドバイスを下さる、部にとってなくてはならない方です。ともに仕事をした身として、感謝して止まないところですが、酒量も適量にしつつ、今後のますますの活躍を祈っております。

(前調査事業部、東武鉄道株式会社 仙波悟史)